

- ★水と緑の生活都市
- ★人間味あふれる福祉都市
- ★国際色豊かな教育文化都市
- ★日本海時代をリードする総合都市
- ★みんなで作る市民都市



市報

発行所 新潟市役所  
新潟市西堀通6番町  
866  
電話代表(28)1000  
編集人 本間高明  
(旧専念新聞部長補課)  
印刷所 勝第一印刷所

総合計画  
特集号  
1月12日

(おもな内容)

- 二面 ●総合計画のあらまし
- 三면 ●人口と主要事業計画
- 四面

# 第2次新潟市総合計画決まる ～昭和60年をめざして～

はじめに  
このたび、多くの方々の御協力を得て、昭和60年を目標とする新しい新潟市総合計画が決定しました。ほう大な内容になりますのでここに要約して皆様にお知らせ申し上げます。次で述べます。

本市では、さきに昭和四三年から十一年間の第一次総合計画を定めた、計画的な行政運営の指針としてきたのでありますが、ご承知のようにこの間の我が国における社会経済情勢は大きく変化しております。これに伴って本市を取巻く諸情勢も、対岸諸国との交流の活発化、高速交通ネットワークの整備、日常生活圏の拡大などにより大きく変容しつつあります。また、市民意識の面でも、生活水準の向上に伴って、これまでの「もの」の豊かさから、本来あるべき人間らしい、「こころ」の豊かさを求める傾向が強めており、さらに市民生活の環境整備を強く要望してきています。

そこで市民の皆様が、この新潟に誇りをもち、安心して、気持ちよく生活するためには何かが必要か、という基本的観点に立ちかえって長

期的展望のもとに策定したのがこの総合計画です。

この新しい総合計画は、市民生活優先、人間尊重をその基調とし、生活環境の整備、社会福祉の充実を図り、来るべき高福祉社会へのしっかりした礎を築き上げるとともに、教育文化環境の向上をめざし、更には日本海時代の中心にふさわしい活力のある都市の建設をめざしております。

策定に当たっては、世論調査や市民論文の募集、市政モニターなど、百人からなる意見を聴く会の開催、更には総合計画審議会に諮問するなど、できる限り市民参加のもとにすすめて参ります。

今後、この計画の実施に当たっては、市民ひとりひとりの協力による市民参加のもとに、新潟らしさを大切にしながら、まちづくりを進めなければなりません。多くの方々が建設的な御意見をお寄せ下さることを願いながら、あいさつにかえらる次第です。

新潟市長 渡辺浩太郎

## 〈あすの新潟へ五つのテーマ〉

- ☆水と緑の生活都市  
日本海や信濃川、阿賀野川など、新潟の自然を守り、美しい水と緑、そして快適な生活をおくるためのいろいろな施設がバランスよく整備された、くらしやすい生活都市をめざします。
- ☆人間味あふれる福祉都市  
体の不自由な方、恵まれない方に温かい手がゆき届き、子供や老人が大切にされる。まち、人と人が笑顔で結ばれ、だれもが健康で幸せなくらしがおくれる福祉都市をめざします。
- ☆国際色豊かな教育文化都市  
すぐれた教育環境のもとで豊かな知識と人間性が高められ、対岸諸国との交流を通じ、平和な日本海時代にふさわしい、国際色豊かな教育文化都市をめざします。
- ☆日本海時代をリードする総合都市  
日本海側の玄関として、対岸諸国とも活発な経済・文化の交流を行い、豊かな都市機能と産業を育てる、日本海時代のリーダーにふさわしい総合都市をめざします。
- ☆みんなで作る市民都市  
まち、の人たちが自分たちの手で築いてきたという、港町、庶民の町としての伝統を生かし、市民みんなであそび、みんなで作る市民都市をめざします。